

令和2年度 阿南市地域公共交通協議会 議事録

日時：令和3年2月24日（水） 午後3時から午後4時

場所：ひまわり会館 2階 ふれあいホール

協議事項

(1)大井線廃線地域における「ご近所ドライブパートナー事業」の導入について

事務局説明：「阿南市ご近所ドライブパートナー事業実施企画書（案）」の通り

質疑応答：

徳島バス阿南：企画書案では、利用者負担金として、乗降1回につき100円、1回の運行で、1往復400円となっていたが、例えば、病院へいったあと、銀行へ行くなどということとは可能なのか。

事務局：今回のモデル事業では、自宅から目的地、目的地から自宅の1往復での運行を想定している。なので、目的地1から目的地2へ行く場合は、利用者負担も補助金も発生しない想定としている。利用者から、例えば、病院へ行ったあと銀行にも行ってほしいとの要望があったときは、運行主体であるNPOの判断にまかせる。

徳島バス阿南：1回400円の利用者負担は、運行事業者の収入になるのか、それとも、市へ納入し、補助金のみが運行事業者の収入となるのか。

事務局：利用者負担については、一度、運行事業者が利用者から集金し、その後、市へ納入することになるため、利用者負担については運行事業者の収入となるわけではない。

徳島バス阿南：損害賠償保険について、個人がかけている自賠責や任意保険に加えて、上乗せの保険がかかるのか、それとも、個人が支払っている自賠責や任意保険の保険料について補助がでるのか。

事務局：損害賠償保険については、ドライバー個人が自身の車にかけている自賠責や任意保険に加えて、かけることを予定しており、事故が発生した際にも、上乗せする保険で対応し、個人でかけている保険の等級などに影響がでないようにする。

徳島バス阿南：400円で1往復できるとなると、今後、他の地域へ展開していった際に、現在かかっている運賃より安いので、バスを廃止して、この事業を導入してほしいというようにならないか、懸念がある。

事務局：他地域での導入にあたっては、その度ごとに公共交通会議を開催し、同意を得るものとしており、あくまでも、現状のバス路線と競合しない形で制度を導入していくことを予定している。

徳島運輸支局：市へのお願いになるが、今後、事業を進めるにあたっては、(利用できる)対象者が限られるということをきちんとしてもらいたい。一般の高齢者であれば、タクシーもあるし、要介護認定者なら介護タクシーもある。この事業は、許認可の不要な事業ではあるが、高齢者であれば誰でも使えるということになれば、許認可が必要という判断にもなっ

てくる。

協議事項(1)については、原案どおり承認。

協議事項(2)その他

事務局：連絡事項になるが、「ご近所ドライブパートナー」事業は、加茂谷地区での実証実験的な運行を通して、効果や課題を検証し、他地区への導入を予定している。展開にあたっては、今回の会議での意見を取り入れ、十分な制度設計を行う。他地域での導入にあたっては、今回のようにその都度、地域公共交通会議を開催する。